

令和5年度「幼児車内放置ゼロ」巡回活動の結果について

本活動の結果につきまして、以下のとおりご報告させていただきます。

《報告事項》

平成17年8月1日からの活動開始以来、本活動も19年目を迎えました。

今年の夏は記録的な猛暑となり、熱中症対策に配慮しながらの取組みとなる中、例年同様、1社で複数の報告を提出された組合員もおられ、本活動に対する取組みへの関心の高さや熱意が感じられました。また、特別会員、賛助会員にもご協力いただきました。

なお、平成18年、平成19年、平成23年、平成27年、平成29年、平成30年においてそれぞれ発見事例があり、平成17年からの活動開始以来、組合員10社により15名の幼児を発見しておりますが、幸いにも今年は、発見事例はありませんでした。

■活動を実施した組合員からの報告

【総括】

- ・毎年のように記録的な暑さとニュースで伝えられている。この暑さの中、幼児が車内に放置されると命に直結するため、素晴らしい活動だと思う。
- ・今年は商業施設で幼児置き去りの悲しい事故があったので、これからも巡回活動を継続していきたいと思う。
- ・郊外店舗等、駐車場のあるホール様にお伺いした際は、従業員に巡回活動を義務付けている。引き続き対応していきたい。
- ・今年は例年以上の酷暑だったので、短時間でも車内に置き去りにされたら命が危ないと改めて感じた。
- ・人だけでなくペットの動物も犠牲になったり、最近の異常な暑さで火災が発生したりと、幼児車内放置以外の事象も起こっているため、それらを防ぐことにもつながると思う。
- ・何も発見できないことが良いことなので継続していこうと思う。
- ・どのホール店舗も従業員の意識が高いが、巡回を継続することでより車内放置やその他事件、事故につながるような事案を未然に防ぐ確率を上げることが大事だと思う。
- ・立体駐車場での駐車について、日陰だから大丈夫と思われる人もいる可能性があるため、注意して巡回活動した。

【特記事項】

- ・灼熱の車内にスプレー缶やカバンを置いている車がたまに見受けられ、気を付けてほしい気持ちになるとともに、このことが自分や社内での注意喚起となった。
- ・子ども以外にも休憩している人が熱中症にかかったりするかもしれないので、差し支えないよう大人の方でも様子をうかがうことにしている。
- ・スモークガラスの車の他、日中でも立体駐車場等、車の中が確認しづらいところがあるためLEDライトを持って巡回した。
- ・今年の夏は屋根のある駐車場でもクーラーを止めると途端に車内温度が上がるため、ペットを含めた車内放置の確認に努めた。
- ・立体駐車場内ではホール警備保障の方と情報交換しながら、巡回当日だけではなく別日での出来事も聞く等した。

本年度も「幼児車内放置ゼロ」巡回活動にご協力をいただきありがとうございました。来年度もご協力の程よろしく願いいたします。